

タブレットとネットワークを活用した学習システムのご紹介

－ 外付け小型液晶タブレットを活用した手書き学習 －

ライズ株式会社 文教グループ

キーワード：タブレット、ネットワーク、手書き学習、教科学習、学力向上

1. はじめに

教育現場でのICT環境整備が進む中、それらを利用していかに効果的な授業づくりができるかが注目されています。ライズ株式会社では、学力向上を支援するネットワーク配信型のコンテンツ提供サービスである、「ライズeライブラリアドバンス」と、タブレットの手書き機能をフルに活用した小学館の手書き学習システム「小学館デジタルドリルシステム」をセットでご提案致します。

2. 「ライズeライブラリアドバンス」の特徴

「確かな学力」の向上を支援する豊富なコンテンツをネットワークを通じて配信する教育サービスです。コンピュータ教室だけでなく、普通教室や職員室での活用、さらに家庭学習や、学校から地域社会への情報発信など、様々な場面でご活用いただけます。

5教科60,000問を超える学習履歴型ドリル教材を中心に、百科事典や図鑑、素材集やプリント教材、提示教材を、横断的に連携させて利用することができます。また、各社の教科書のページにも対応した非常に強力な検索機能があります。

全国約5,000校の小中学校で利用されており、「学校・家庭連携サービス」により、更に活用が広がっています。

3. 「小学館デジタルドリルシステム」の特徴

タブレットPCや液晶タブレットの手書き機能を活用して、漢字練習、計算練習、理科、社会の基礎固めを効率よく学習できる手書き対応デジタル教材です。

手書き対応のタブレットは、「書く」というアナログ的な動きを通じた効果的な演習と、コンピュータの自動採点成績処理を実現するデジタル教具です。この特徴をフルに活用した「小学館デジタルドリルシステム」は、児童の知識定着をより効果的にし、先生方にとっては成績管理を通しての適切な学習指導を実現いたします。

このシステムで使用する手書き文字の認識方法は、これまでの文字認識ソフトウェアに比べ、明らかな優位性があります。文字の形を認識するだけでなく、漢字の筆順、文字のハネなどの認識・判定といった漢字学習に必要な不可欠な機能を備えています。

手書き学習環境をより身近にするため、USB接続による外付けの小型液晶タブレットをセットでご提案致します。

4. まとめ

ライズeライブラリアドバンスと小学館デジタルドリルシステムのそれぞれの特徴を組み合わせることで、相互に補完するシステムとなり、教育現場で大きな効果を発揮することが期待できます。また、USBによる外付けの小型液晶タブレットを利用することにより、コストを抑えて手書き学習の環境を整備することが可能となります。



写真1 ライズeライブラリアドバンスの画面

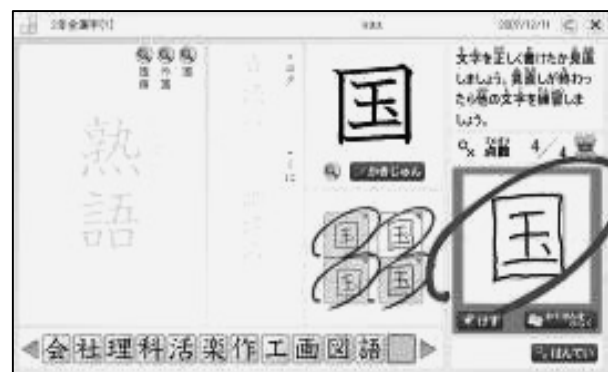


写真2 小学館デジタルドリルシステムの画面